

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立今治北高等学校

学校番号(16)

教育方針	志を高く持ち、自ら学び考え行動する生徒の育成を目指す。	重点目標	<ul style="list-style-type: none">・将来、それぞれの場で「一流」が目指せる生徒を育てる。・海外留学や研修により、国際的視野と指導力を持つ生徒を育てる。・自分のために、そして誰かのために頑張り抜く生徒を育てる。・勇気を出して、一步踏み出せる生徒を育てる。
------	-----------------------------	------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	家庭学習の充実	1日平均の家庭学習について1・2年生は3時間以上、3年生は4時間以上を確保させる。	B	6月と11月の2回の調査の平均は、1年商119分、普144分、2年商93分、普184分、3年商74分、普277分であった。2・3年普通科は目標を達成できた。	課題の量や与え方、部活動との両立、生活習慣の見直しなど、様々な観点で考えていく必要がある。
	学習習慣確立への支援	個別指導・サタディスクールによる学習習慣の確立への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~75% D:74~60% E:59%以下	B	学校評価アンケートの結果、個別指導とサタディスクールの評価の平均は、生徒は85ポイント、保護者は77ポイントであり、平均すると81ポイントであった。	個別指導やサタディスクールの内容が学習習慣の確立を十分促していないと感じている保護者に、その必要性や有効性を感じてもらえるように発信をする必要がある。
	教科指導の充実	年間に2回以上他の教員の授業を参観し、授業改善に努める。	B	6月の相互授業参観に加え、各教科やHR活動の研究授業に参加し、授業改善に努めた。	継続的に研修を続け、教科指導の充実を図りたい。
	朝読書の充実	朝読を10分間とし、全校生徒で読破1万冊を目指すとともに言語活動の充実を図る。 A:1万冊以上 B:9,999~8,000 C:7,999~6,000 D:5,999~4,000 E:3,999以下	D	9月の調査では5260冊であったが、1月に調査すると減少していた。9月はFormsで調査し、1月は紙媒体を使って調査したので、回覧することで他の生徒の目に触れることが原因かもしれない。	調査の方法やマニフェストを検討する必要がある。
生活指導	規律ある生活習慣の確立	「遅刻ゼロの日」(開校日で0のつく日を設定)の達成回数を年間12回以上とする。 A:12回以上 B:11~10回 C:9~8回 D:7~6回 E:5回以下	D	<2月末現在> 17回設定のうち、「遅刻0」達成は、6回であった。	特定の生徒が遅刻を繰り返す状況がみられ、注意指導しても遅刻を繰り返す生徒が10名弱いる。遅刻の理由はほとんどが寝坊などの不注意である。「時間を守る」という最も基本的な生活習慣を確立させるためにも、自ら規範意識を高める指導を徹底したい。
		一か年皆勤者率を60%以上とする。 A:60%以上 B:59~55% C:54~50% D:49~45% E:44%以下	B	2学期末の時点で、1年生54.2%、2年生61.9%、3年生61.3%、学校全体59.1%であった。	特定の生徒の欠席が多く、長欠の生徒も少なくない。個々に応じた有効な対応を考えていく必要がある。今年度も新型コロナウイルス対策で出停扱いが認められ、欠席とならなかった生徒がいる半面、欠席しやすい状況になったとも考えられる。また、ワクチン接種の副反応による体調不良の生徒が予想以上に多かった。

生活指導	交通安全指導の充実	交通死亡事故などの重大事故0件、軽微な交通事故年間5件以内とする。	D	<2月末現在> 重大事故は0件、軽微な事故は20件であった。	20件の軽微な事故は全て自転車事故である。自動車、自転車同士、歩行者に対しての事故であった。交通ルールを遵守し、時間に余裕を持って行動することに加え、事故後の対応についても指導徹底していきたい。
	健康管理指導の充実	生徒の健康や安全に関する指導への満足度85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	C	学校評価アンケートの結果、生徒89%、保護者78%であった。	保健委員会で実施している各月ごとの健康課題に関する掲示や啓発活動を充実させる(統計を取ったり、保健室利用状況と照らし合わせて内容を一般的なものから本校の実情に応じたものにする。)
	環境美化指導の充実	清掃活動などを通じた環境美化への評価85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74~70% E:69%以下	B	学校評価アンケートの結果、生徒84%、保護者80%であった。	環境整備委員会から呼びかけて、昼の10分間清掃を充実させる。
	教育相談の充実	生徒の悩みに対する適切な相談・助言及び、援助が必要な生徒に対する適切な支援体制を充実させ、生徒・保護者の安心感85%を目指す。 A:85%以上 B:84~80% C:79~75% D:74%~70% E:69%以下	C	学校評価アンケートの結果、生徒82%、保護者73%であった。	教育相談担当やSLAの存在を教育相談日より等でアピールし保護者にも存在を知ってもらい気軽に相談できるよう呼びかける。また、学年主任を中心に担任と連携をとり、情報を共有したい。
	特別活動の充実	生徒会活動の活発化への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	D	低い評価になった理由は、感染症のため実施できない行事があったためだと思われる。	現在も定期的に生徒会役員が集まり、行事の運営や改善などについて会議を実施しており、役員の活動は活発である。早く感染症が落ち着き、平常の状態に戻ることを期待する。
		学校行事の創意工夫による生徒の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	予定通り実施できない行事もあったが、できるように工夫をした。また、生徒も約束事を守り実施することができた。(86%)	早い段階から準備を進め、状況に応じて実施できるように複数のアイデアを用意しておく。また、学校全体において規則正しい生活習慣を身に付けることを意識させ、健康面に気をつける。
		ホームルーム活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	昨年度の結果よりも若干下がったが、高い水準で満足度を維持している。(88%)	ホームルームにおいても感染症などの状況に臨機応変に対応できるように、複数の準備をしておかなければならないことがある。
部活動の活性化	全ての部活動を充実させる。 全国大会出場部数、10部以上 A:10部以上 B:9~7部 C:6~5部 D:4~3部 E:2部以下 県総体出場者数、250名以上 A:250名以上 B:249~245名 C:244~240名 D:239~235名 E:234名以下 高文祭出場者数、100名以上を目指す。 A:100名以上 B:99~95名 C:94~90名 D:89~85名 E:84名以下 部活動の満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89~85% C:84~80% D:79~75% E:74%以下	B	○全国大会出場11部(A) ○県総体出場者数292名(A) ○高文祭出場者数74名(E) ○部活動の満足度89%(B) ほぼ、目標は達成できている。	ほぼ、目標を達成している。感染症などの影響で思うような活動ができない中で、生徒たちはよく頑張っていると思う。県総体の出場者数は、目標設定を少し上げる必要があると思う。高文祭においては、数年前は一つの部門で100名近く出場する部門があったため目標設定が厳しいと思われる。来年度からは、少し基準を下げようと思っている。部活動の満足度も高い水準を維持しているが、大会の中止や練習試合の禁止などでモチベーションの維持が難しい。指導者の工夫が大切になってくる。	

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	進学指導の充実	国公立大学への合格者数を商業科15名以上、普通科100名以上を目指す。 難関10大学及び国公立大学医学部医学科5名以上の合格者数を目指す。 A:115人以上 B:114人～105人 C:104人～95人 D:94～85人 E:84人以下 難関大学合格を含め、総合的に判断する。	D	1月現在での国公立大学への合格数は、商業科3名、普通科21名で、例年の難関10大学及び国公立大学医学部医学科への合格は0名である。今年度は、商業科生徒の国公立大学への進学希望者が10名と昨年の半数ほどと少ないうえに、合格率も例年より低い状況であった。普通科生徒の合格者は昨年と同数である。	新型コロナウイルス感染症の影響で、学費の負担を懸念する生徒や保護者が商業科の中に多かったせいも、優秀な生徒の中で就職希望者が多くいたことが原因として挙げられる。商業科生徒に対して、国公立大学進学の魅力や合格可能性等を、商業科の教員と協力して1年次から伝えていく必要がある。また、昨年度から入試制度が大きく変化したのに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年ならば一般選抜のみで国公立大学を受験していた、比較的学力の高い層の受験生も、年内の総合型選抜や学校推薦型選抜を受験してきており、本校の可否にかなり影響を与えている。一般選抜にも耐えうる学力を低学年時から身に付ける必要がある。
		商業科生徒の卒業時における全商検定3種目以上1級取得者を85%以上を目指す。 A:85%以上 B:84～80% C:79～75% D:74～70% E:69%以下	A	78名中75名の生徒が3種目以上1級取得を達成した。	商業科生徒としての自覚、および進路選択における資格取得の大切さを生徒に意識付けする取組が重要である。これまで同様に、1年次から上位学年へと継続した指導を行っていきたい。
	就職指導の充実	就職内定率100%を達成する。 A:100% B:99～95% C:94～90% D:89～85% E:84%以下	A	就職希望者24名全員が内定を頂いた。(2/24現在)	・昨年度に引き続き、職場開拓と職業指導の充実に努め、早期の就職内定を目指す。
	進路情報提供の適切度	生徒・保護者に対する適切な進路情報の提供及び保護者との連携への満足度90%以上を目指す。 A:90%以上 B:89～80% C:79～75% D:74～60% E:59%以下	C	学校評価アンケートによると、生徒84ポイント、保護者73ポイントであった。	生徒が一人一台端末を貸与されたことがあり、Teamsを利用して情報提供をしたり、オンライン講義やオンラインオープンキャンパス等に参加するよう促したが、保護者に対してその情報が伝わっていない可能性があるため、生徒と保護者が情報共有できるようにする必要がある。

家庭・地域連携	家庭連絡の徹底	学校印刷物の適切な配布や伝達を実現する。	A	学校アンケートでは、74%が満足している。	令和2年度は、78%であり、4%の減少である。連絡がメール等を利用することが多くなったが、依然高い満足度を見せている。
	PTA活動の充実	理事会・総会・研修会の活性化と参加率50%を目指す。 A:50%以上 B:49~45% C:44~40% D:39~35% E:34%以下	B	臨時PTA理事会では、47%の参加、本部役員は75%の参加。	今年度は、新型コロナウイルス対策のため、理事会を2回中止した。また運動会、北桜祭などPTAの参加行事も中止したため主だった活動はなかった。公開授業では130人を越える参加者があり、学校への関心の高さを感じた。
	学校評価の充実	学校関係者評価委員会の活性化及び学校評価アンケートの各評価項目において生徒・保護者・教職員、いずれも90%を目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~75% D:74~60% E:59%以下	C	生徒82.2%、保護者75.6%、 教員78.4%平均78.7%	学校評議委員会並びに学校関係者評価委員会を年3回実施して御意見を学校行事や生徒指導などの改善に役立てている。
	学校ホームページの充実	毎日更新することにより、キャッチボール型学校運営を目指し、月の平均アクセス数1,500以上を目指す。 A:1,500以上 B:1,499~1,200 C:1,199~1,000 D:999~700 E:699以下	B	累計397966アクセスがあり、平均1339人(1月24日)	今年度は、生徒への連絡がg-mailやteamsで行われる場面の増加、学校行事が縮小などのため、ホームページのアクセスが減ると考えていたが、B評価だった。学校教育への関心がうかがえる。今後も教職員全員でブログの更新に努めたい。
業務改善	適切な勤務時間	教職員の勤務時間を守り、休憩時間を確保する。業務の効率化を図り、時間の有効活用を図る。	C	コロナの影響で部活動等の教育活動が制限されたため、時間外勤務の時間は減少した。	会議や事務作業を見直し、効率化と精選を図る。
	職場環境の整備	健康保健室だよりや健康診断の結果から健康相談を定期的に実施し、教職員の疲労や心理的な負担の軽減を図る。	C	ストレスチェックの結果は昨年度より良好であった。	懇親会等は来年度も自粛により縮小される状況が続くと予想されるが、教職員間の円滑なコミュニケーションが図れるよう明るく和やかな職場環境を確立する。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。